報道発表資料

Press Release

諫早市

令和７年4月15日提出

第１５９回土橋貞恵翁祭

標記について、次のとおりお知らせします。

日　時	令和　7年５月９日(金)　10時00分～11時00分
場　所	諫早市立森山東小学校体育館
内　容	別紙　第159回土橋貞恵翁祭実施要項のとおり 土橋貞恵翁祭は、主催は森山地域の小中学校や自治会等で構成された「土橋貞恵翁祭実行委員会」で、毎年、貞恵翁の命日である5月9日に開催している地域行事。 式典後に、森山地域の小中学校が持ち回りで発表を行っており、今年は森山西小学校による発表を予定している。
問い合わせ先	諫早市　　森山支所地域総務課　有川 電話番号：0957-36-1111(内線 73-105) E-mail：moriyama_somu @city.isahaya.nagasaki.jp
担当課	同上
備　考 （記事解禁日等）	**写真・映像撮影などに関しまして一部、配慮いただくことがございますので、取材にお越しの際は事前にご連絡をいただきますよう、お願いいたします。**

第１５９回 土橋貞恵翁祭

令和７年５月９日（金）午前１０時～

諫早市立森山東小学校体育館

〈 式次第 〉

１　開式のことば
２　祭文朗読
３　参　　拝
４　祝　　辞
５　頌徳歌斉唱
６　閉式のことば
７　発　　表　　森山西小学校

土橋貞恵翁（つちはしていけいおう）

（1776～1865）

土橋多助は、安永5年（1776）諫早長田に生まれ、のちに「多助ぼっさん」の名で親しまれるようになった、社会奉仕の先覚者である。

はじめ多良岳の金泉寺で読み書きを学び、後に佐賀藩の諫早家屋敷に仕えた。何事にもまじめに立ち働いたため信用も厚く、慕われていた。

その後、長崎の医者吉松道碩に入門。13年かけてオランダ医学を学び、「土橋永春」の名をもらう。

文化2年（1805）森山杉谷の地で開業した。自らの生活は常に質素にし、貧しい患者を救い、「医は仁術なり」を地で行く慈善徳行の人であった。医療で得た財は、石橋の架橋、道路の改修、溜め池の築造等の社会奉仕にすべてを還元した。

後に、諫早領主は、数々の善行に報いるため、「貞恵」の称号を授けた。

稀世の偉人、土橋多助は晩年、仏門に入り（知足庵）、90歳の長寿を全うした。

主 催 ： 土橋貞恵翁祭実行委員会

後 援 ： 諫早市教育委員会